

# 漁海況速報

No.21

平成17年6月10日発行

## 福島県水産試験場

〒970-0316 いわき市小名浜下神白字松下13-2

TEL0246-54-3151 FAX0246-54-9099

ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/suisan-shiken/index.htm>

協力機関:

県内各漁業協同組合

磐城沖石油開発(株)

宮城県水産研究開発センター

茨城県水産試験場

(社)漁業情報サービスセンター

ほか

### 海況(表面)

- ①親潮系冷水の勢力範囲は先週より狭まり、15°C台未満は本県沖距岸20~30海里より灘側に分布した。
- ②黒潮系暖水の勢力は先週より強まり、本県沖30海里以沖は15°C台以上となり、塩屋崎沖50海里より沖合では18°C台となった。
- ③定地水温は、小名浜・松川浦はともに平年より1°C高く、大熊は1°C低い。

### 見通し(1週間)

- ・親潮系冷水の断続的な波及がみられますが、灘側では季節的な昇温がみられるでしょう

### 平成17年6月海洋観測結果

- 6月6~9日に調査船「いわき丸」にて行ないました海洋観測の結果をお知らせします。
- 観測された水温の定線ごとの平均値と、前年差ならびに平年差は以下のとおりです。

(単位:°C) 観測値 前年差 平年差

	塩屋	14.70	3.14	-1.67
表面	富岡	15.61	4.03	0.02
	鵜ノ尾	14.67	1.90	-0.08
	塩屋	6.79	0.45	-2.06
100m深	富岡	8.34	2.18	-0.30
	鵜ノ尾	8.59	2.12	0.77

(観測値は50海里内の平均値、平年値は過去30年の平均値)

- 塩屋崎沖距岸25海里付近から富岡沖50海里付近、鵜ノ尾崎沖100海里付近にかけて黒潮系暖水の波及がみられました。水温は塩屋崎沖で親潮系冷水の部分的な分布がみられ、塩屋崎定線分についてはやや低めとなりましたが、全体では平年並みとなりました。

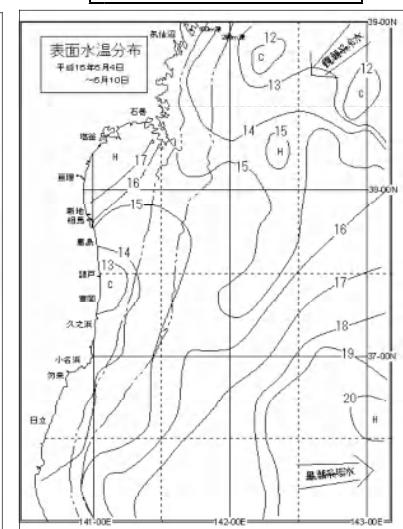
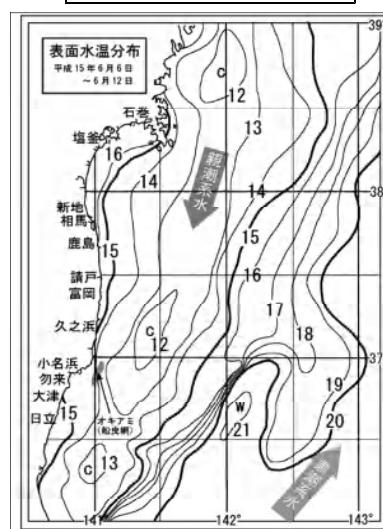
### 平成15年同期

### 平成16年同期

### 定地・定点水温の推移(°C)

場所	小名浜	大熊	松川浦	広野沖
月日				
6/3	14.0	16.0	17.4	10.6
6/6	16.0	13.7	19.7	12.8
6/7	16.0	16.1	19.2	15.5
6/8	16.2	12.2	18.4	15.0
6/9	14.5	11.2	17.2	15.6

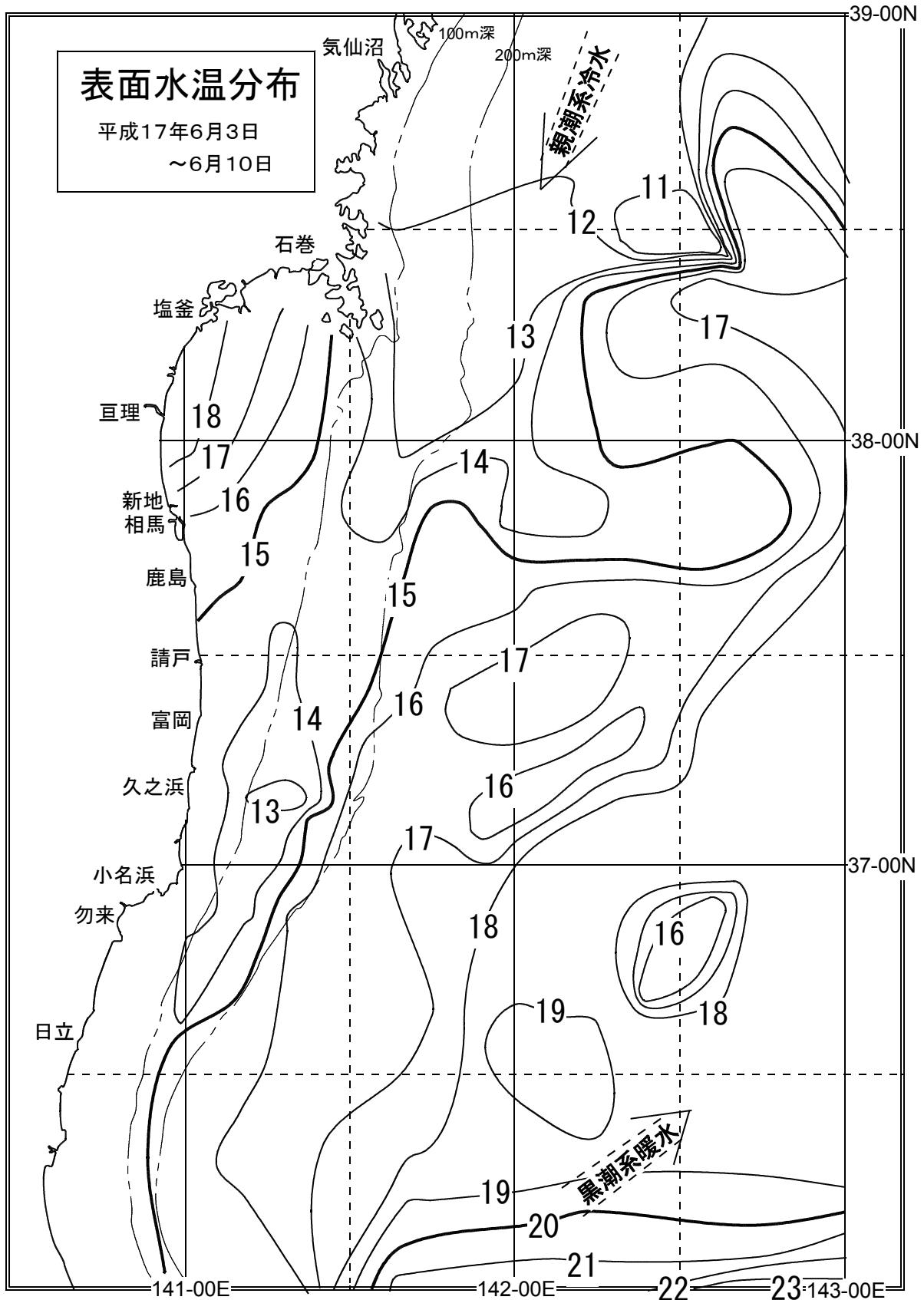
広野沖:37-18N, 141-27E (約40km 沖)



## 表面水温分布

平成17年6月3日

~6月10日



# 漁 海 況 速 報

No.22

平成17年6月17日発行

# 福島県水産試験場

〒970-0316 いわき市小名浜下神白字松下13-2

TEL 0246-54-3151 FAX 0246-54-9099

ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/suisan-shiken/index.htm>

10か

### 海況 (表面)

- ①親潮系冷水の波及が新地沖  
距岸40海里から勿来沖70海  
里付近にかけてみられる。
  - ②黒潮系暖水の波及は先週よ  
り灘側にみられ、本県沖40海  
里より灘側は広く15~18°C台  
に覆われた。

③定地水温は、小名  
・大熊ともに平年並

- ・親潮系冷水の断続的な波及びみられますが、表面では季節的な昇温がみられるでしょう。

協力機關：

### 県内各漁業協同組合

磐城沖石油開発(株)

宮城県水産研究開発センター

## 茨城県水産試験場

(社)漁業情報サービスセンター

平成17年度東北海区海況予報 第2号 (7月中旬)

独立行政法人水産総合センター北海道区水産研究所および東北区水産研究所とりまとめにより6月14日に発行されました東北海区海況予報をお知らせいたします。

## —今後の見通し—

- (1) 近海の黒潮の北限位置は、平年並 ( $35^{\circ} 30' N \sim 36^{\circ} 30' N$ ) で推移する。
  - (2) 黒潮系暖水の北限位置は、近海で平年並に推移する。
  - (3) 釧路沖の暖水塊はほぼ停滞する。
  - (4) 親潮第1分枝の張り出しが、平年並 ( $38^{\circ} 30' N \sim 39^{\circ} 30' N$ ) で推移する。
  - (5) 津軽暖流の下北半島東方への張り出しが、平年並 ( $142^{\circ} 30' E$ 付近まで) で推移する。

## —福島県海域についての予報—

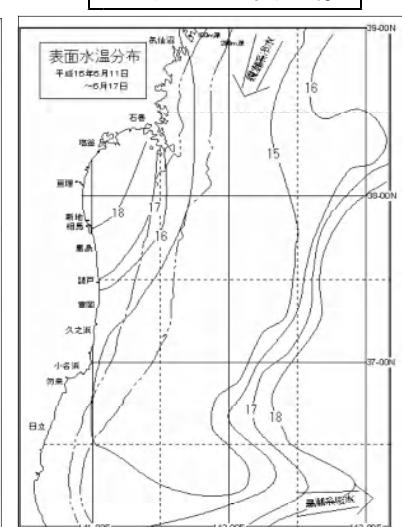
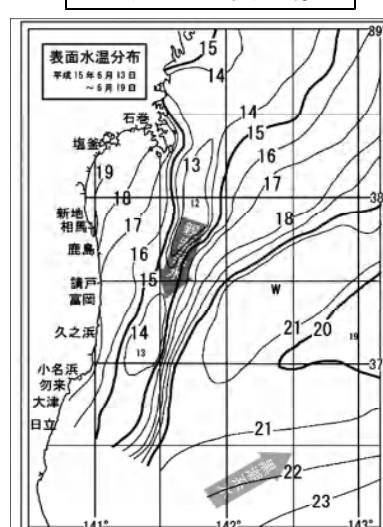
福島東海域についての予報  
灘側の親潮系冷水の断続的な南下が引き続きみられ、水温は平年並みからやや低めと低め基調が継続すると予想される。

平成15年同期

平成 16 年同期

### 定地・定点水温の推移(°C)

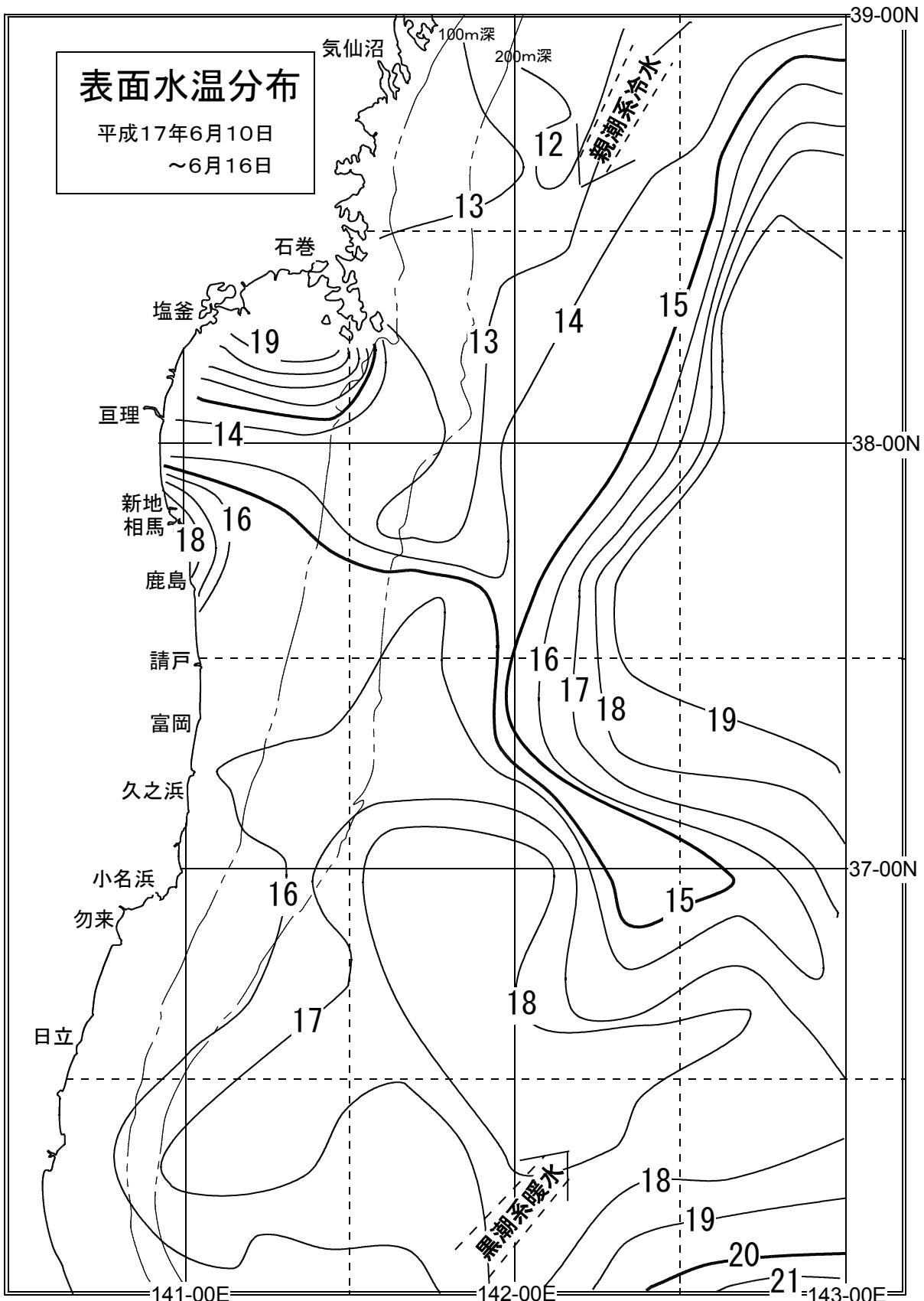
場所 月日	小名浜	大熊	松川浦	広野沖
6/10	14.9	10.8	17.3	—
6/13	14.5	15.0	18.0	—
6/14	15.0	16.0	18.5	—
6/15	16.0	16.4	17.9	—
6/16	15.9	17.4	18.1	—



広野沖:37-18N, 141-27E (約40km 沖)

## 表面水温分布

平成17年6月10日  
~6月16日



# 漁海況速報

No.23

平成17年6月24日発行

## 福島県水産試験場

〒970-0316 いわき市小名浜下神白字松下13-2

TEL0246-54-3151 FAX0246-54-9099

ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/suisan-shiken/index.htm>

協力機関:

県内各漁業協同組合

磐城沖石油開発(株)

宮城県水産研究開発センター

茨城県水産試験場

(社)漁業情報サービスセンター

ほか

### 海況(表面)

- ①親潮系冷水の波及は先週より顕著になり、本県沖距岸25～50海里付近に13°C台がみられる。
- ②黒潮系暖水の波及は先週なみで、本県沖75海里以東に19°C台がみられる。
- ③定地水温は、小名浜は平年より1°C高く、大熊は1°C低く、松川浦は2°C高い。

### 見通し(1週間)

- ・親潮系冷水の断続的な波及がみられるでしょう。

### 平成17年度カツオ長期来遊資源動向予測(6月～11月)

・水産庁より6月17日に発表されましたカツオ長期来遊資源動向予測をお知らせします。

「平年を上回る水準で来遊し、秋には体長51cm前後の魚群が中心」

・常磐・三陸沖漁場における今後6月～11月の来遊動向の予測

#### (1) 来遊資源量

来遊資源量は、平年を上回る水準と考えられる。

#### (2) 主分布域

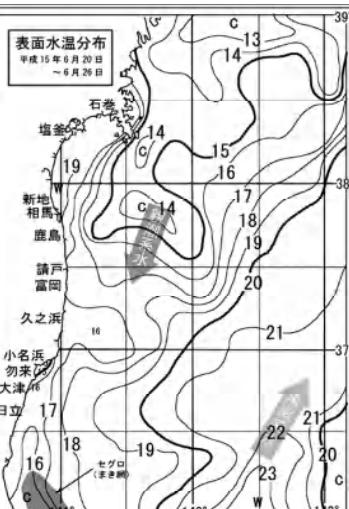
6月～8月(北上期)には、常磐・三陸東沖合36°N～41°N, 144°E～152°E(福島県塩屋崎～岩手県黒崎の250～1,100キロ沖)に分布すると考えられる。

9月～11月(南下期)には、37°N～41°N, 142°E～146°E(福島県塩屋崎～岩手県黒崎の100～450キロ沖)を中心とする海域に分布すると考えられる。

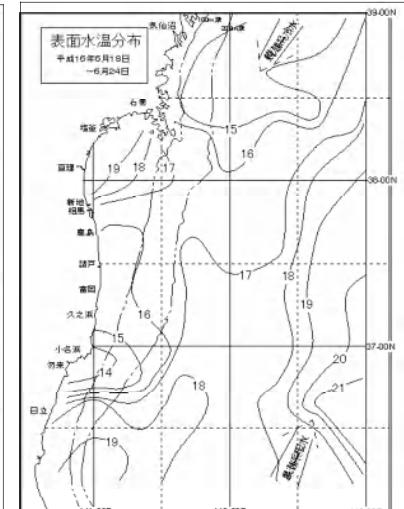
#### (3) 魚体

6月上旬現在、体長44cm・体重1.8kg前後の魚群が今後も来遊資源の中心となっており、過去の体長組成の季節的な推移から、南下する秋には体長51cm・体重3kgを超えると考えられる。

### 平成15年同期



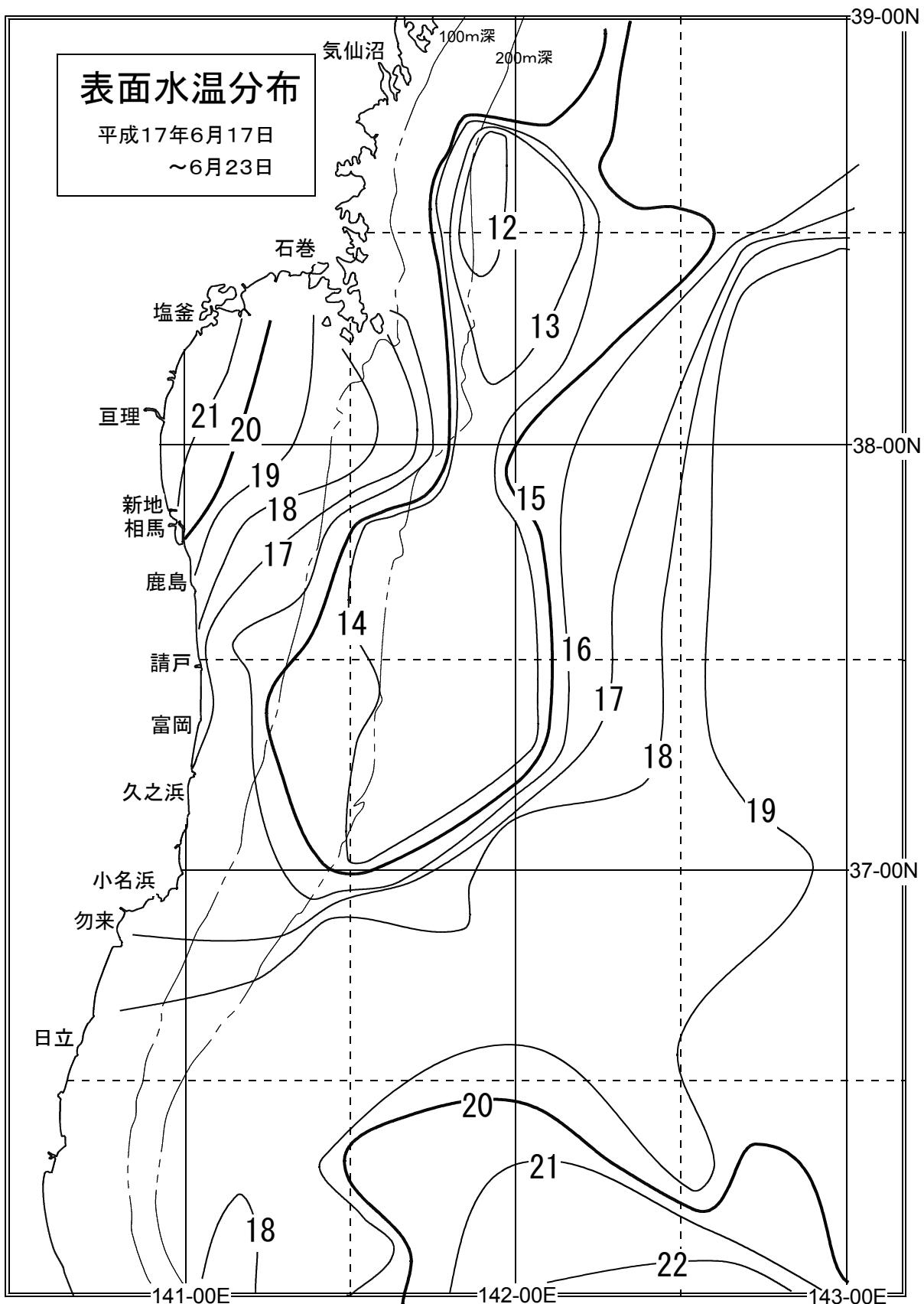
### 平成16年同期



広野沖:37-18N, 141-27E (約40km沖)

## 表面水温分布

平成17年6月17日  
~6月23日



# 漁海況速報

No.24

平成17年7月1日発行

## 福島県水産試験場

〒970-0316 いわき市小名浜下神白字松下13-2

TEL0246-54-3151 FAX0246-54-9099

ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/suisan-shiken/index.htm>

協力機関:

県内各漁業協同組合

磐城沖石油開発(株)

宮城県水産研究開発センター

茨城県水産試験場

(社)漁業情報サービスセンター

ほか

### 海況(表面)

①親潮系冷水の波及は先週並みだがやや昇温し、本県沖には13°C台がみられなくなった。

②黒潮系暖水の波及は先週並みだが昇温し、本県沖75海里以東に21°C台がみられる。

③定地水温は、小名浜は平年より1°C低く、大熊は2°C低く、松川浦は1°C高い。

### 見通し(1週間)

・親潮系冷水の断続的な波及がみられるでしょう。

### 漁況情報(カツオ)

- ・カツオの水揚状況をお知らせいたします。
- ・6月22日までの水揚は以下の表のとおりです。

表 カツオの福島県属地水揚量・金額

	まき網	一本釣り	合計
数量(kg)	2,202,509	797,979	3,000,488
平成17年 金額(千円)	423,484	217,013	640,497
単価(円/kg)	192	272	213
数量(kg)	2,308,461	149,885	2,458,346
平成16年 金額(千円)	976,649	73,177	1,049,826
単価(円/kg)	423	488	427
数量	95.4%	532.4%	122.1%
昨年比 金額	43.4%	296.6%	61.0%
単価	45.4%	55.7%	49.9%

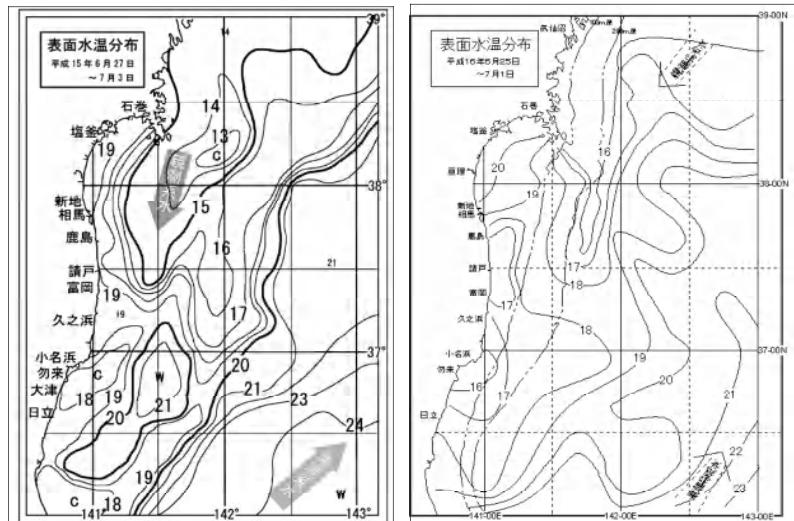
・属地水揚量は昨年比122%と多くなっておりますが、単価は昨年の半分程度と低くなっています。これは、水揚量が多かったこととともに、昨年みられた中型魚が少なく、40cm台の小型魚が多くなっていることが原因と考えられます。

平成15年同期

定地・定点水温の推移(°C)				
場所	小名浜	大熊	松川浦	広野沖
月日				
6/24	14.5	13.9	22.2	13.6
6/27	14.7	16.8	19.4	13.7
6/28	15.4	15.1	18.6	14.0
6/29	16.3	15.2	19.4	14.6
6/30	16.7	14.6	19.2	15.0

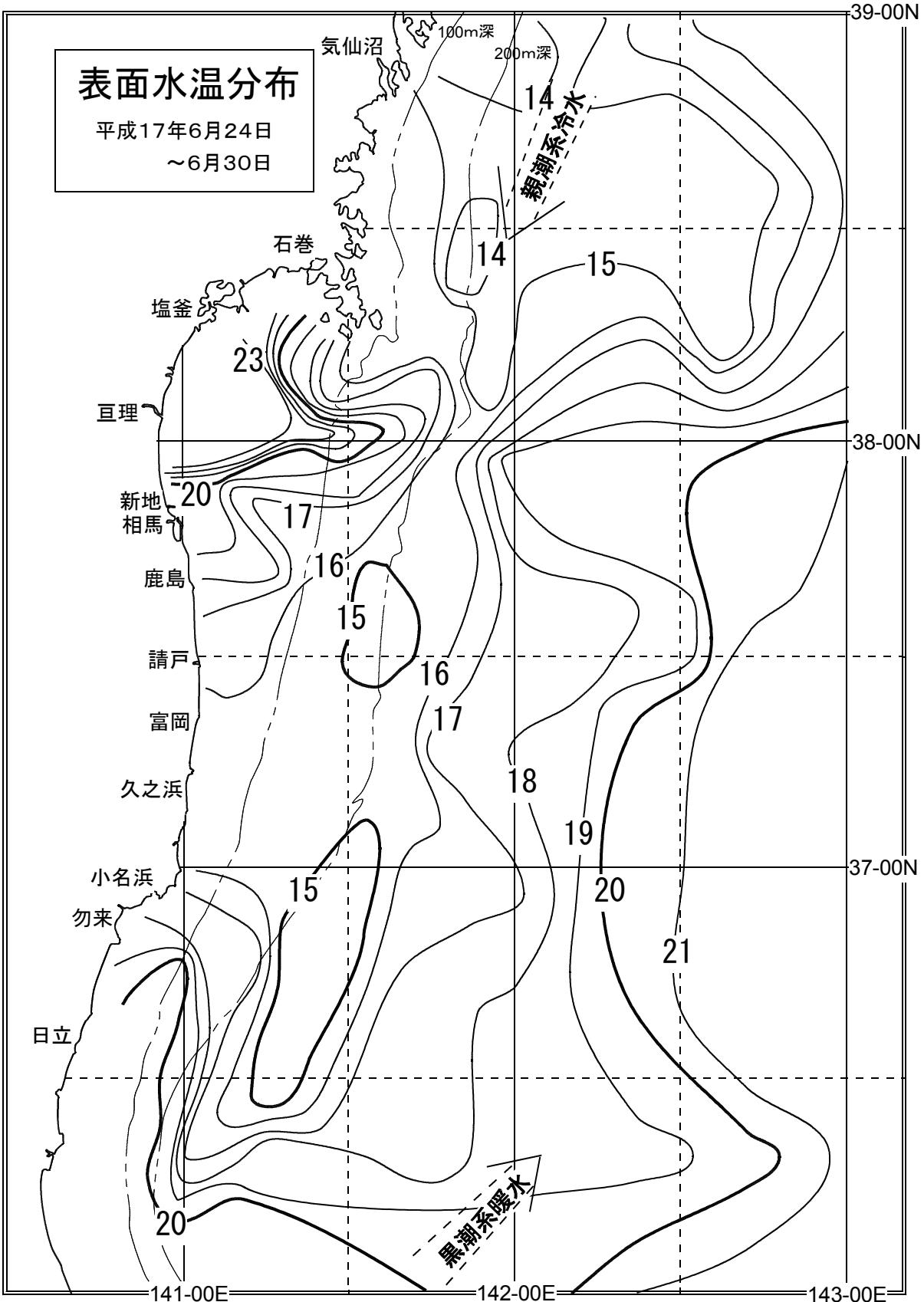
広野沖:37-18N, 141-27E (約40km沖)

平成16年同期



## 表面水温分布

平成17年6月24日  
~6月30日



# 漁海況速報

No.25

平成17年7月8日発行

## 福島県水産試験場

〒970-0316 いわき市小名浜下神白字松下13-2

TEL0246-54-3151 FAX0246-54-9099

ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/suisan-shiken/index.htm>

協力機関:

県内各漁業協同組合

磐城沖石油開発(株)

宮城県水産研究開発センター

茨城県水産試験場

(社)漁業情報サービスセンター

ほか

### 海況(表面)

①親潮系冷水の波及は先週並みで、本県沖50海里付近までは広く15~18°C台に覆われている。

②黒潮系暖水の波及は先週並みで、本県沖50海里以東に広く20°C台がみられる。

③定地水温は、小名浜・松川浦は平年並み。大熊は4°C低い。

### 見通し(1週間)

・親潮系冷水の断続的な波及がみられるでしょう。

### 漁況情報(まき網)

- 平成17年6月までのまき網の水揚状況をお知らせします。
- 主要対象魚種ごとの水揚量、金額は以下の表のとおりです。

表 まき網漁業の水揚数量と金額

・昨年とれなかつたサバが継続的に水揚されています。また、昨年は5月頃まで水揚がみられたカタクチイワシですが、今年は2月まで水揚がなくなります。6月まで昨年比35.8%の水揚量となっています。

数量 (kg)	平成17年			平成16年		
	カツオ	カタクチイワシ	サバ類	カツオ	カタクチイワシ	サバ類
1月	0	707,870	1,338,628	0	1,504,509	0
2月	0	537,432	553,068	0	1,548,155	0
3月	0	0	435,411	0	129,938	0
4月	85,381	0	810,696	138,957	89,859	0
5月	1,134,344	0	288,065	1,062,429	203,421	0
6月	2,053,509	0	269,177	1,867,679	0	0
合計	3,273,234	1,245,302	3,695,045	3,069,065	3,475,882	0

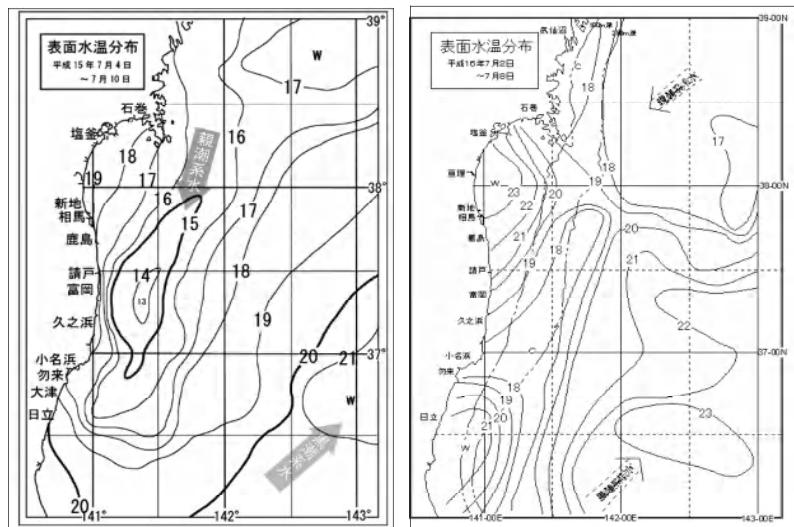
金額 (千円)	平成17年			平成16年		
	カツオ	カタクチイワシ	サバ類	カツオ	カタクチイワシ	サバ類
1月	0	13,616	37,892	0	31,102	0
2月	0	11,718	16,357	0	26,338	0
3月	0	0	11,154	0	2,183	0
4月	32,764	0	21,922	109,611	1,604	0
5月	194,949	0	7,562	516,159	3,142	0
6月	348,663	0	7,808	573,814	0	0
合計	576,376	25,334	102,695	1,199,584	64,369	0

### 平成15年同期

定地・定点水温の推移(°C)				
場所	小名浜	大熊	松川浦	広野沖
7/1	17.4	13.9	19.0	13.6
7/4	16.9	14.9	21.0	13.7
7/5	17.2	13.4	20.2	14.0
7/6	17.6	13.7	20.8	14.6
7/7	17.7	13.9	21.8	15.0

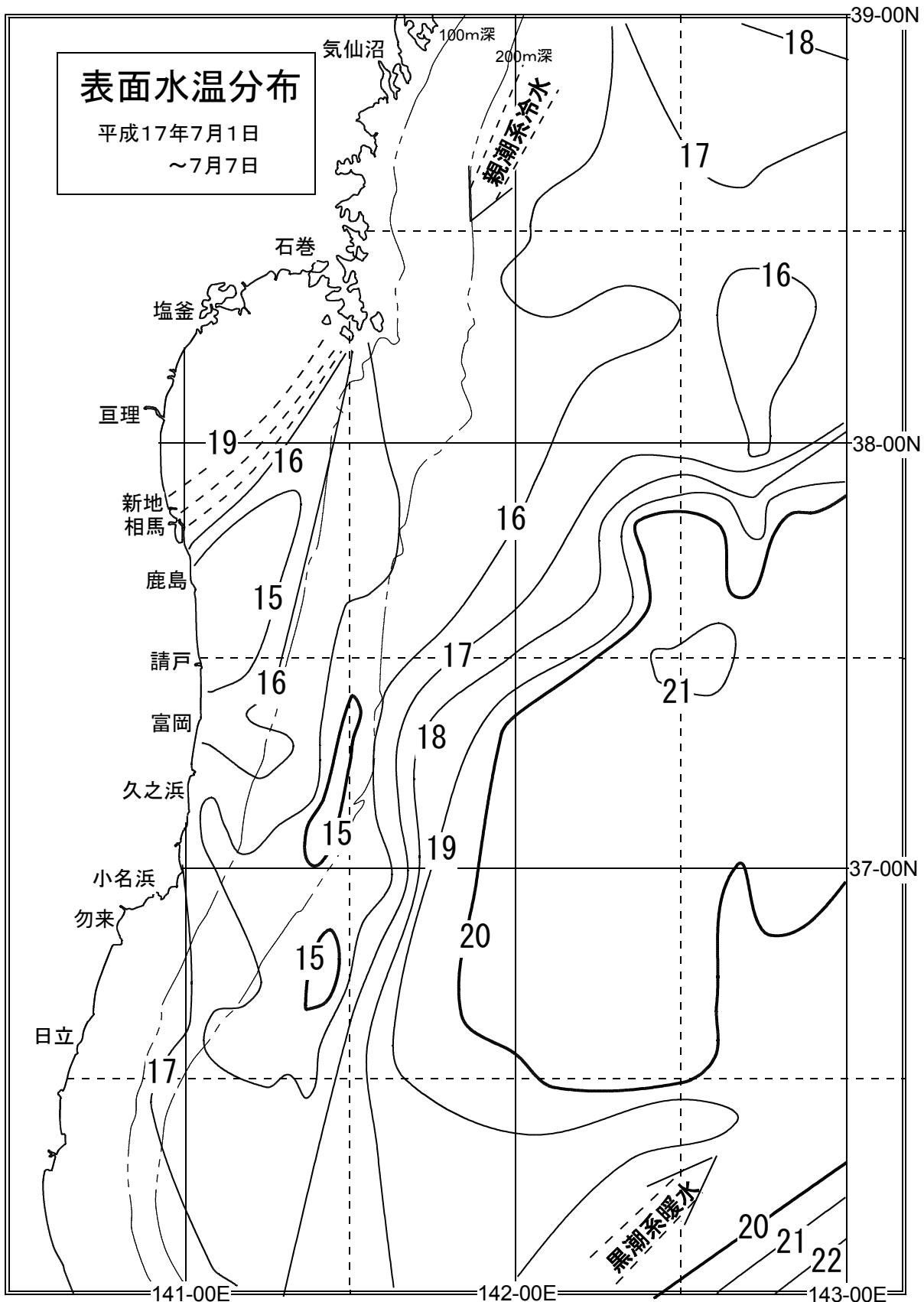
広野沖:37-18N, 141-27E (約40km 沖)

### 平成16年同期



## 表面水温分布

平成17年7月1日  
~7月7日



# 漁海況速報

No.26

平成17年7月15日発行

## 福島県水産試験場

〒970-0316 いわき市小名浜下神白字松下13-2

TEL0246-54-3151 FAX0246-54-9099

ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/suisan-shiken/index.htm>

協力機関:

県内各漁業協同組合

磐城沖石油開発(株)

宮城県水産研究開発センター

茨城県水産試験場

(社)漁業情報サービスセンター

ほか

### 海況(表面)

①親潮系冷水の波及は先週より弱まり、本県沖25海里より灘側は2~3°C程度昇温した。

②黒潮系暖水の波及は先週並みで、本県沖60海里以東に22°C台がみられるようになった。

③定地水温は、小名浜・大熊は平年より1°C高い。松川浦は平年並み。

### 見通し(1週間)

・黒潮系暖水の波及は継続し、表面では昇温傾向がみられるでしょう。

### 平成17年7月海洋観測結果

・7月5~8日に調査船「いわき丸」により行った海洋観測結果をお知らせします。  
・各定線ごとの水温および前年・平年差は以下の表のとおりです。

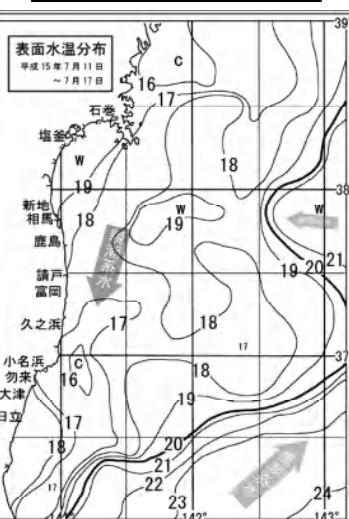
(単位:°C) 観測値 前年差 平年差

表面	塩屋	17.10	-1.67	-1.78
表面	富岡	18.14	-0.53	-0.54
	鵜ノ尾	18.43	-1.16	0.18
100m深	塩屋	6.54	-0.14	-2.88
100m深	富岡	5.26	-1.69	-3.98
	鵜ノ尾	9.48	1.37	0.14

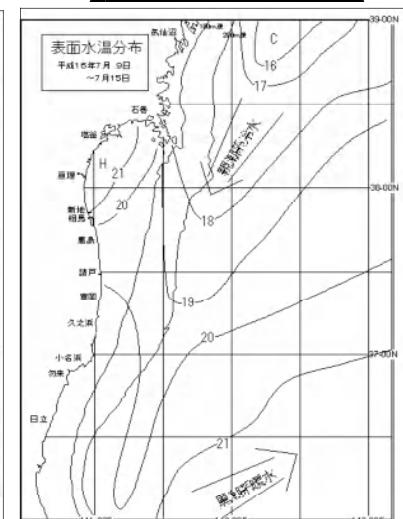
(観測値は50海里内の平均値、平年値は過去30年の平均値)

・本県中南部海域沖30海里付近に親潮系冷水の波及がみられ、平年より低めから極めて低めの水温がみられました。その影響で水深200m以浅の海底付近の水温も例年より低めとなっています。

### 平成15年同期



### 平成16年同期



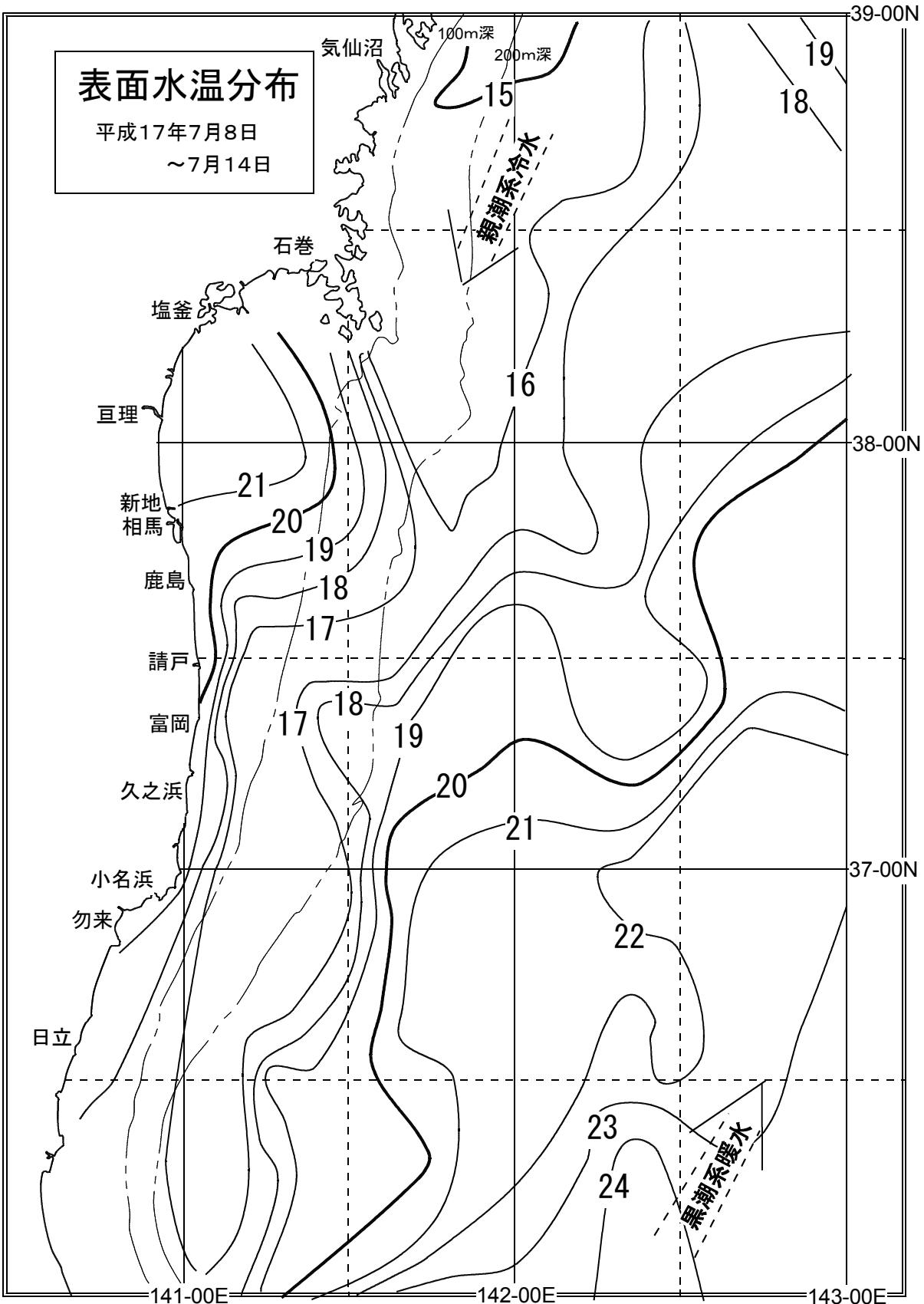
### 定地・定点水温の推移(°C)

場所	小名浜	大熊	松川浦	広野沖
月日				
7/8	18.0	19.0	20.8	15.6
7/11	19.1	18.9	21.9	14.9
7/12	19.7	20.2	20.4	15.2
7/13	19.1	19.4	20.5	15.5
7/14	19.8	20.0	20.9	19.5

広野沖:37-18N, 141-27E (約40km沖)

## 表面水温分布

平成17年7月8日  
~7月14日



# 漁海況速報

No.27

平成17年7月22日発行

## 福島県水産試験場

〒970-0316 いわき市小名浜下神白字松下13-2

TEL0246-54-3151 FAX0246-54-9099

ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/suisan-shiken/index.htm>

協力機関:

県内各漁業協同組合

磐城沖石油開発(株)

宮城県水産研究開発センター

茨城県水産試験場

(社)漁業情報サービスセンター

ほか

### 海況(表面)

①親潮系冷水の勢力は先週より強まり、富岡沖距岸30~70海里付近に17°C台がみられる。

②黒潮系暖水の勢力は先週並みだが、塩屋崎沖20~50海里付近に22°C台がみられるようになった。

③定地水温は、小名浜・松川浦は平年より1°C高い。大熊は平年より2°C低い。

### 見通し(1週間)

・黒潮系暖水の波及は継続し、表面では昇温傾向がみられるでしょう。

### 底びき網漁模様(速報値、H16年9月~H17年6月)

・今期の総漁獲量は約9,600トン、金額は約37億円で、前期に比べ漁獲量は96%、金額は105%でした。水揚金額上位の魚種別の水揚量と金額は以下の表のとおりです。

表 底びき網漁の魚種別水揚量・金額

順位	種名	漁獲金額 (億円)	今期水揚量 (トン)	前期水揚量 (トン)	対前期比 (%)
1	ヤナギダコ	5.5	2,102	2,991	70.3%
2	マダラ	3.1	1,404	1,611	87.2%
3	マガレイ	2.9	693	490	141.4%
4	マアナゴ	2.2	375	336	111.6%
5	ナメタガレイ	2.1	235	307	76.5%

・漁獲金額を魚種別に見ると、今期も前期同様1位はヤナギダコ(5.5億円)、2位マダラ(3.1億円)で、3位は前期のナメタガレイに変わりマガレイ(2.9億円)となりました。

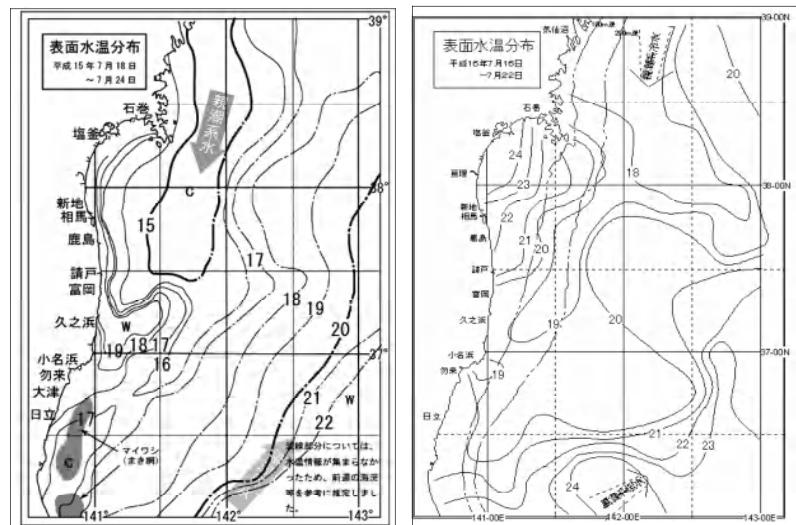
・今期の水揚量は前期と比べて、ヤナギダコが約890トン、マダラが約210トン減少しており、これが総漁獲量減少の要因となっています。しかし、両種とも単価が上がり、総漁獲金額の若干の増加につながりました。

平成15年同期

定地・定点水温の推移(°C)				
場所	小名浜	大熊	松川浦	広野沖
月日				
7/15	19.2	15.6	20.5	20.0
7/18	—	—	—	20.0
7/19	19.6	17.1	24.6	17.3
7/20	20.1	19.4	23.8	17.6
7/21	20.3	18.8	22.3	15.9

広野沖:37-18N, 141-27E (約40km沖)

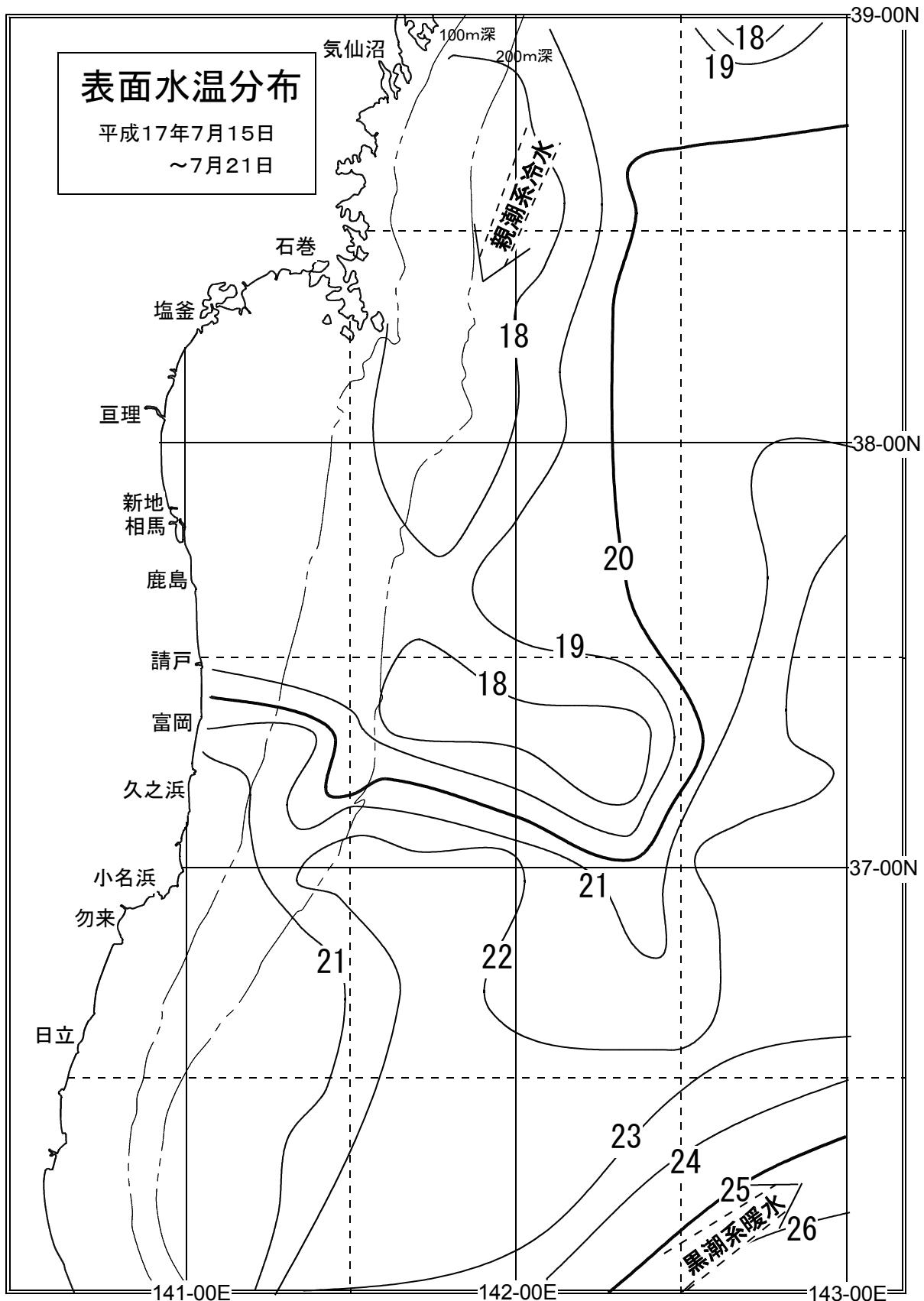
平成16年同期



## 表面水温分布

平成17年7月15日

~7月21日



# 漁海況速報

No.28

平成17年7月29日発行

## 福島県水産試験場

〒970-0316 いわき市小名浜下神白字松下13-2

TEL0246-54-3151 FAX0246-54-9099

ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/suisan-shiken/index.htm>

協力機関:

県内各漁業協同組合

磐城沖石油開発(株)

宮城県水産研究開発センター

茨城県水産試験場

(社)漁業情報サービスセンター

ほか

### 海況(表面)

①親潮系冷水の勢力は先週よりは弱まり、18°C台先端は、請戸沖25海里付近にある。

②黒潮系暖水は沖合からの波及び継続し、その範囲を拡大した。

③定地水温は、小名浜、松川浦は平年並、大熊は平年より2°C高い。

### 見通し(1週間)

・黒潮系暖水の波及は継続し、表面では昇温傾向がみられるでしょう。

### 沖合たこかご漁業の水揚げ状況

7月20日現在の水揚げ状況を整理しましたのでお知らせします。

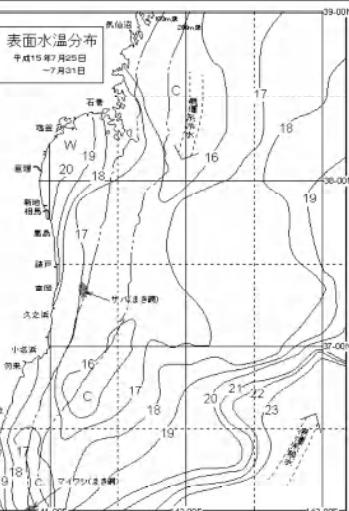
水揚量(トン)	平成17年	平成16年	17/16%
ミズタコ	106	102	104%
ツブ類	134	129	104%

水揚金額(千円)	平成17年	平成16年	17/16%
ミズタコ	49,278	44,509	111%
ツブ類	34,514	28,730	120%

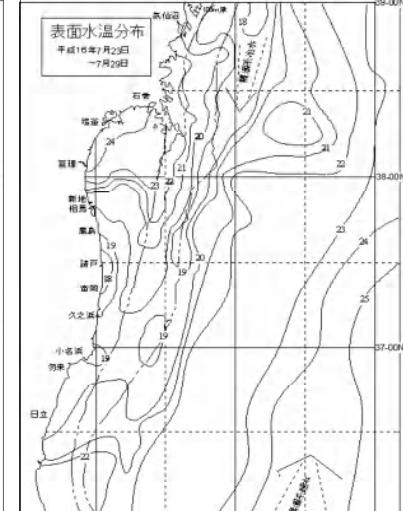
価格(円/kg)	平成17年	平成16年	17/16%
ミズタコ	463	436	106%
ツブ類	258	223	116%

昨年とほぼ同程度の漁模様ですが、ツブ類の価格がよく、水揚金額は、昨年を上回っています。

### 平成15年同期



### 平成16年同期



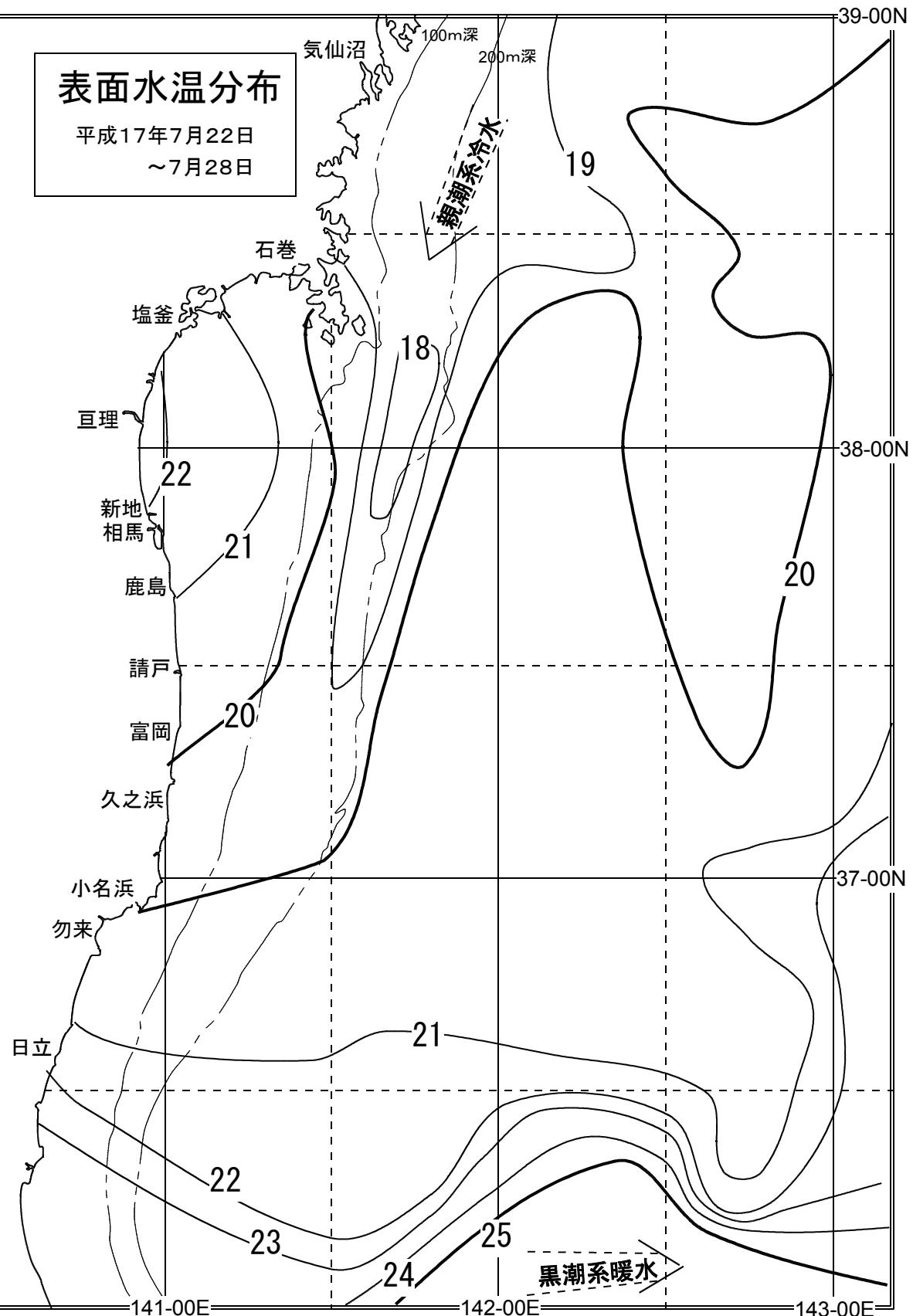
### 定地・定点水温の推移(°C)

場所	小名浜	大熊	松川浦	広野沖
月日				
7/22	20.1	19.5	21.3	15.6
7/25	20.1	19.0	20.7	17.8
7/26	19.6	19.5	20.3	16.2
7/27	19.4	21.0	21.9	15.7
7/28	19.0	20.5	22.1	14.6

広野沖:37-18N, 141-27E (約40km 沖)

## 表面水温分布

平成17年7月22日  
~7月28日



# 漁海況速報

No.29

平成17年8月5日発行

## 福島県水産試験場

〒970-0316 いわき市小名浜下神白字松下13-2

TEL0246-54-3151 FAX0246-54-9099

ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/suisan-shiken/index.htm>

協力機関:

県内各漁業協同組合

磐城沖石油開発(株)

宮城県水産研究開発センター

茨城県水産試験場

(社)漁業情報サービスセンター

ほか

### 海況(表面)

①親潮系冷水の勢力は先週よりは弱まり、本県沖に19°C未満はみられなくなった。

②黒潮系暖水の沖合からの波及は先週より顕著になり、本県沖50海里より沖合は21~22°C台となった。

③定地水温は、小名浜、松川浦は平年より1°C高く、大熊は平年より2°C低い。

### 見通し(1週間)

・黒潮系暖水の波及は継続し、表面では昇温傾向がみられるでしょう。

### 平成17年7月海洋観測結果

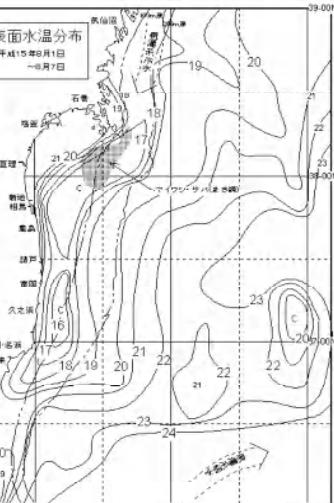
・8月1~3日に調査船「いわき丸」により行った海洋観測結果をお知らせします。  
・各定線ごとの水温および前年・平年差は以下の表のとおりです。

		観測値	前年差	平年差
表面	塩屋	21.57	0.97	-0.85
	富岡	20.74	0.77	-1.56
	鵜ノ尾	21.71	3.33	0.52
100m深	塩屋	10.35	-0.82	0.45
	富岡	8.06	-0.22	-1.27
	鵜ノ尾	10.42	1.12	0.66

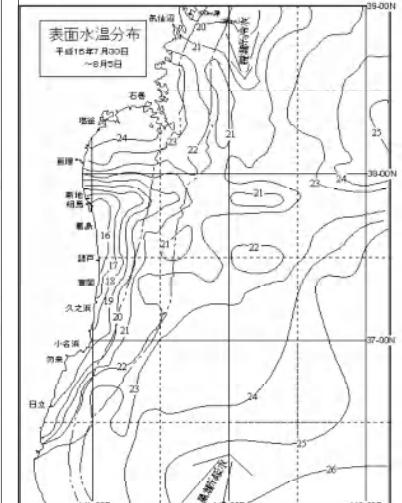
(観測値は50海里内の平均値、平年値は過去30年の平均値)

・親潮系冷水の目立った波及はみられず、弱いながらも沖合よりの黒潮系暖水の波及が本県沖30海里付近までみられました。水温は単調な成層分布をし、全体で見ると平年並みの水温でした。

### 平成15年同期



### 平成16年同期



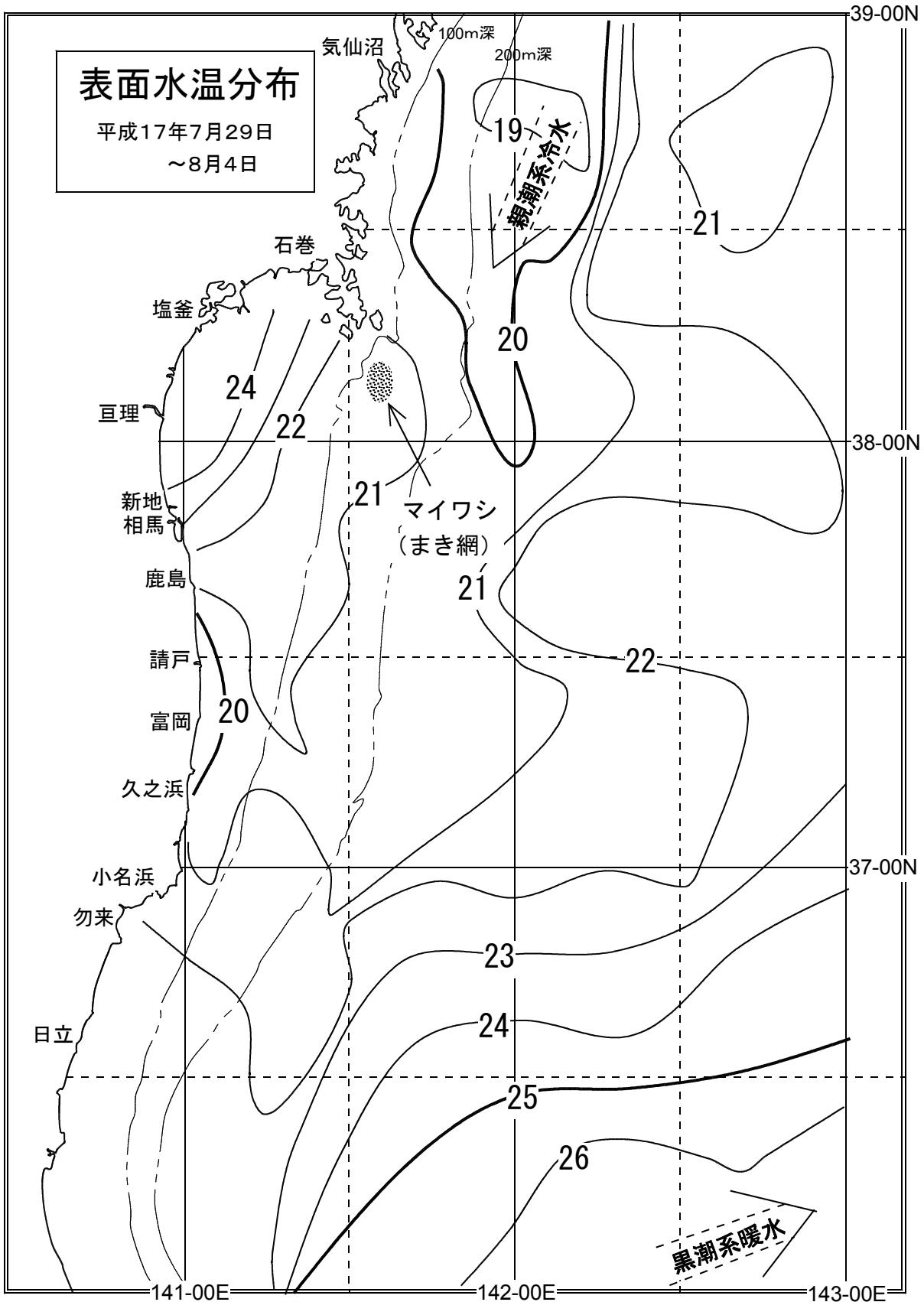
### 定地・定点水温の推移(°C)

場所	小名浜	大熊	松川浦	広野沖
月日				
7/29	19.3	20.8	22.3	18.6
8/1	21.5	20.1	24.5	17.6
8/2	22.3	18.5	25.9	17.8
8/3	21.5	17.2	24.2	18.8
8/4	19.9	16.8	24.3	20.1

広野沖:37-18N, 141-27E (約40km沖)

## 表面水温分布

平成17年7月29日  
~8月4日



# 漁海況速報

No.30

平成17年8月12日発行

## 福島県水産試験場

〒970-0316 いわき市小名浜下神白字松下13-2

TEL0246-54-3151 FAX0246-54-9099

ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/suisan-shiken/index.htm>

協力機関:

県内各漁業協同組合

磐城沖石油開発(株)

宮城県水産研究開発センター

茨城県水産試験場

(社)漁業情報サービスセンター

ほか

### 海況(表面)

①親潮系冷水の勢力は先週よりやや強まり、請戸沖30海里付近に21°C台がみられる。

②黒潮系暖水の波及は先週並みだが表面では昇温し、本県沖50海里より沖合は23°C台以上となった。

③定地水温は、小名浜、松川浦は平年より1°C高く、大熊は平年並み。

### 見通し(1週間)

・黒潮系暖水の波及傾向は継続するでしょう。

### 平成17年度第1回太平洋イワシ・アジ・サバ等長期漁海況予報

8月1日に発表となりました、独立行政法人水産総合研究センター中央水産研究所とりまとめによる太平洋長期漁海況予報をお知らせします。

#### 海況(鹿島灘～常磐南部海域)

沿岸水温は、犬吠埼以北が「平年並み」～「極めて低め」で推移する。

※ 平年並み=平年値±0.5°C程度、高め=平年値+1.5°C程度、やや低め=平年値-1.0°C程度、極めて低め=平年値-2.5°C程度

#### 漁況(来遊量予測)

マサバ及びゴマサバ太平洋系群

マサバ・ゴマサバとも0歳魚は好調であった前年を下回る。

1歳魚は前年を大きく上回る。2歳魚は前年を下回る。

サバ類全体としては前年を上回る。

マイワシ太平洋系群

依然として低水準であるが、常磐～房総の0歳魚は前年を上回る。

カタクチイワシ太平洋系群

総じて前年を下回るが豊後水道～紀伊水道では前年を上回る。

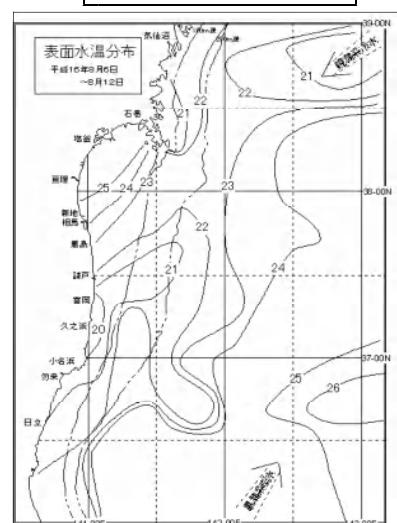
### 平成15年同期

### 平成16年同期

定地・定点水温の推移(°C)				
場所	小名浜	大熊	松川浦	広野沖
月日				
8/5	19.5	18.8	26.4	20.5
8/8	21.2	21.0	26.2	20.1
8/9	21.0	22.3	25.0	19.2
8/10	22.1	21.6	23.2	19.6
8/11	21.8	21.7	22.0	19.7

広野沖:37-18N, 141-27E (約40km沖)

同時期休刊のため  
画像はございません。



## 表面水温分布

平成17年8月5日  
~8月11日

